

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

鹽野 めぐみ

24

第七幕 第1場

1522年 マンレサにて

登場人物： 巡礼者 洞窟内の孤独なイニゴ・デ・ロヨラ

【語り】 マンレサの洞窟で存分に祈り、苦行できるようになったイニゴは、念願がかない喜びと平安に満ちた毎日を送っていました。が、この平穏な状態は長くは続かず、その心に激しい霊的な嵐が吹き荒れ始めたのでした。

【黒い天使の合唱】

♪イニゴよイニゴ 見栄っ張り よう頑張るのー ほめてやらー
だがなー こんな生活に 何時まで耐えると 言うんだよ
七十年もの 間には 体はボロボロ 心萎え
足腰弱り 目はかすみ 途中で投げ出すのが落ちだ

イニゴ： 神のため始めた巡礼を止めさせようといぎなう悪霊め、そんな脅しに乗るものか！！ 70年はおろか、あと1時間私が生きることを、お前は保証できるのか？

【黒い天使の合唱】

♪イニゴよイニゴ これをみろ 美しいだろ 奇麗だろう
お前の苦行の ご褒美だ 大いに楽しむがいい

イニゴ： なんだろうこれは？ こんなに鮮やかで奇麗なもの見たことがない。眩しくて じっと見ていられない。それでいて、惹きつけられて目が離せない。ぴかぴか光っては消える眼のようなものが、いっぱい

くっついている細長いもの、あれは蛇か ?
ああ、消えていく。待ってくれ、もう少し見ていたいのにな……
とうとう行ってしまった。寂しさを残して……

【黒衣の使いの合唱】

♪イニゴよイニゴ 大罪人 騎士の時代の 罪がみな
赦されたとでも 思うのか もっとまじめに 振り返れ

イニゴ： モンセラットで、3日もかけて糾明し、包み隠さず告白したではないか？聴罪司祭も赦しを与えてくれたし、それ以上どうしろというのだ？

【黒衣の使いの合唱】

♪イニゴよイニゴ 甘えるな あんなのザルの 告白だ
二十歳の時の あの罪や 二十五歳の あの罪も
きちんと 告白できたのか

イニゴ： ああ そうだった！ そんなこともあったなあ。

【黒衣の使いの合唱】

♪それ見ろ 言わんこっちゃない まだまだあるぞ 続々と
30年にも 及ぶ罪 3日で 告白できるかよ

イニゴ： よし来週の日曜日に、今週の分と一緒に告白しよう。

【黒衣の使いの合唱】

♪イニゴよイニゴ そうしなよ これから先も いつまでも
細かいとこまで 糾明し すべての泥を 吐きだしな

イニゴ：辛いなー、過去の罪を思い出すのは。モンセラットで生涯の告白をし、今も毎週告解しているのにまだ足りないのか？今ここで修道院のミサ、夕の祈り、寝る前の祈りにあずかり、毎日7時間祈り、断食し、むち打ちをしているのに、ちっとも心が休まらない。ああ誰か私を導き、この苦しみから解放してくれる人がいないのだろうか？人でなくてもいい。子犬が救ってくれるならその後になんかでもついていきたいくらいだ。

【黒衣の使いの合唱】

♪イニゴよイニゴ 血迷うな 子犬が 頼りになるものか
どこにも救いが ないのなら 身投げし 死ねば楽になる

イニゴ：主よ本当に苦しいです。しかし自殺をあなたは望まれません。どんなことがあっても、あなたのみ旨に背くことだけは絶対に致しません。主よ何をすれば私はこの恐ろしい疑悩から救われるのでしょうか？聖人伝の中にある断食の模範に従ってみます。この悩みから解放されるまで、断食を続けてみます。死が目前に迫ったときには、誰かにパンを乞うことにいたします。

【語り】マンレサの洞窟でイニゴが初め持っていた平和と喜びは、恐ろしい疑悩の嵐と変わり、そこから抜け出したい一心で始めた断食は一週間に及び、イニゴは心身ともに憔悴しきってしまいました。日曜日に告白に行ったイニゴから断食のことを聞き、聴罪司祭はそんな無茶な断食をすぐ止めるよう命じ、イニゴはまだ余力があると思いながらも、従いました。

イニゴはこの苦しみからどのようにして解放されたのでしょうか。